

執筆者紹介 (五十音順)

伊藤 達也 (いとう たつや)	外国語学部フランス語学科准教授 フランス言語学
梅垣 昌子 (うめがき まさこ)	外国語学部英米語学科教授 アメリカ文学
大岩 昌子 (おおいわ しょうこ)	外国語学部フランス語学科教授 音声学、フランス食文化
奥田 隆男 (おくだ たかお)	現代国際学部国際教養学科教授 社会思想史、家族社会学
甲斐 清高 (かい きよたか)	外国語学部英米語学科准教授 イギリス文学
菊地 俊一 (きくち としかず)	外国語学部世界教養学科教授 英語教育
蔵田 敏明 (くらた としあき)	外国語学部日本語学科教授 日本文学、地域文化
近藤 野里 (こんどう のり)	外国語学部フランス語学科助教 フランス語学
塩見 治人 (しおみ はるひと)	現代国際学部国際ビジネス学科教授 国際関係経営史
高田 康成 (たかだ やすなり)	現代国際学部現代英語学科教授 表象古典文化論
野谷 文昭 (のや ふみあき)	外国語学部世界教養学科教授 スペイン語圏文学・文化
平野 啓一郎 (ひらの けいいちろう)	作家 『日蝕』(1998年)、『葬送』(2002年)、『決壊』(2008年)、『ドーン』 (2009年)、『空白を満たしなさい』(2012年)、『透明な迷宮』(2015年) など
平山 陽洋 (ひらやま あきひろ)	外国語学部世界教養学科助教 政治学、ベトナム現代史
藤井 加代子 (ふじい かよこ)	外国語学部英米語学科教授 イギリス文学
松山 洋平 (まつやま ようへい)	外国語学部非常勤講師 イスラーム思想史
ライアン・モリソン (Ryan Morrison)	外国語学部世界教養学科講師 日本文学、文学理論

(2016年3月現在)

2015年度 ワールドリベラルアーツセンター活動記録

主催イベント

開催日時	イベントタイトル	講演者・ゲスト	主催団体等
2015年 6月23日(火)	名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター発足記念イベント 朗読と音楽による『カラマーゾフの兄弟』	たかべ しげこ 熊谷 祥子	舞台女優、オペラ演出家、 前名古屋音楽大学教授 ヴァイオリニスト 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター
7月3日(金)	英語ドラマワークショップ ——ドラマから学ぶ英語コミュニケーション	エリス・ヴァン・ マースヴィーン (Ellis Van Maarseveen)	演出家、演劇コーチ 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター
9月28日(月)	世界をめぐる知的冒険への旅 Vol.1 自ずから到来するもの——詩と絵画	松浦 寿夫	東京外国語大学教授、 画家、美術評論家 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター
10月17日(土)	国際シンポジウム 日中大学生討論会 日中関係の未来を共創する——若者の視点から	丹羽 宇一郎 谷口 誠 王 泰平 他	前駐中華人民共和国全権大使、 前伊藤忠商事会長 元国連大使 元駐大阪総領事 主催：名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター 日中友好99人委員会 共催：中国国際友人研究会 日中文化協会 東海日中関係学会 中日新聞社
10月24日(土)	ドキュメンタリー映画 <i>Small is Beautiful</i> 上映 Jeremy Beasley 監督 インタビュー	ジェレミー・ ビーズリー (Jeremy Beasley)	ドキュメンタリー映画監督、 作家、写真家 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター
11月2日(月)	小説とジャンル——純文学とミステリー	ピエール・ルメートル (Pierre Lemaitre) 中村 文則	小説家 小説家 主催：名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター 共催：外国語学部フランス語学科
2016年 1月9日(土)	世界をめぐる知的冒険への旅 Vol.2 中東激動と日本の関わり ——シリア難民と「イスラム国」の行方	川上 泰徳	中東ジャーナリスト、 元朝日新聞記者 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター

共催イベント

2015年 10月6日(火)	現代のアイランド——詩と音楽	モヤ・キャノン (Moya Cannon)	アイランド詩人	外国語学部英米語学科主催
10月19日(月)	我々はいつことばを持ったのだろうか？ ——ヒトのことばの起源と進化	池内 正幸	津田塾大学教授	外国語学部英米語学科主催
10月20日(火)	生命力の移動——ボードレールと分人主義	平野 啓一郎	小説家	外国語学部フランス語学科主催
10月31日(土)	モンゴルへの発達障害児支援から学ぶ ——日本の特別支援教育の課題	森田 美弥子	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科教授	外国語学部英語教育学科主催
2016年 2月18日(木)	裁判員裁判時代の法廷通訳人	津田 守 浅野 輝子 他	名古屋外国語大学教授 名古屋外国語大学教授	静岡県立大学法廷通訳研究会主催

後援イベント

2015年 12月19日(土)	海舟の玄孫が語る 勝海舟の戦争と平和観	ダグラス・ スティフラー (Douglas Stiffler)	名古屋外国語大学特別客員 研究員 ジュニアタ大学准教授	名古屋・栄中日文化センター主催
--------------------	---------------------	---------------------------------------	-----------------------------------	-----------------



編集後記

存在していなかったものを作るといふのは刺激的な行為だ。しかし亀山学長からの突然の依頼で本誌を創刊することになり、その編集長を務める羽目になったときは、正直言って気が重かった。途中で投げ出すのもいい加減な仕事をするのも嫌なので、その作業に没頭してしまうことがわかっていたからだ。

はるか昔、小学校で学級新聞を作ることになり、担任から責任者つまり編集長になるよう命じられた。記事を募ってもそうは集まらない。ところが、クラスで一番の暴れん坊がなんとエッセイを寄せてくれた。自分の好きな広場がなくなることを残念がるという内容で、誤字脱字だらけの粗い文章だったのでそれに手を入れ、埋め草は自分で書いた。そしてガリ版で刷り上げ教室で配ったところ、暴れん坊のエッセイが担任から激賞されたのだ。一種の成りすましをやったのだが、日ごろ叱られてばかりの彼が喜色満面だったので本当に嬉しかった。もちろん自分が手を入れたなどとはおくびにも出さなかった。どうやらこれが僕にとって編集の原点になっているらしい。

大学ではテニス部の雑誌の編集を部長に命じられ、原稿を集め、埋め草を書き、三日三晩寝ずに編集し、最後の日には鼻血が出た。たかが部誌ではあるが、スペイン語で書いたエッセイまで載せた。可笑しさと切なさが同居する思い出だが、編集と執筆を同時に手掛けることで味わった快感は忘れられない。本誌の編集長を引き受けたとき、何か運命的なものを感じたと言えば大げさに聞こえるだろうが、やはりこういう仕事を引き寄せてしまうのかもしれない。

とはいえ、この仕事を通じて平野啓一郎氏と再会できたり、学内の研究者たちの多彩な経験や思考がいかなるものかを知ることができたり、将来を嘱望されている若手たちにも書いてもらえたりしたことは、望外の喜びとなった。また本誌創刊記念と銘打って行った座談会は、まさに学部学科の垣根を越えて教養というもののあり方を共同で再考させてくれるとともに、その場が文字通りのフォーラムとなり、Artes MUNDI (アルテス・ムンディ) の縮図となったのではないだろうか。この創刊号が多数の読者を獲得し、次の号につながることを期待している。(F・N)

Artes MUNDI

アルテス・ムンディ創刊号
2016年3月24日発行

■ 編集人

野谷文昭 Noya Fumiaki

■ 発行人

亀山郁夫 Kameyama Ikuo

■ 発行所

名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター
〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57
TEL. 0561-75-2164

■ 編集

野谷文昭 (編集長)

梅垣昌子

甲斐清高

ムーティ美穂

高橋直子

三枝茂人

平山陽洋

ポール・クレイン

Noya Fumiaki

Umegaki Masako

Kai Kiyotaka

Moody Miho

Takahashi Naoko

Saigusa Shigeto

Hirayama Akihiro

Paul A. Crane

■ 編集協力

戸田 都

Toda Miyako

■ 表紙

細野綾子 (デザイン)

Hosono Ayako

平木 元 (イラスト)

Hiraki Gen

■ 印刷所

株式会社荒川印刷

*本誌に掲載されている記事、図版、写真等の無断掲載、複製、転載を禁じます。

©名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター 2016年